

## 各商品に関するご留意事項

### 株式に関するご留意事項

- 株式は預金商品ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります。お取引にあたっては契約締結前交付書面をよくお読みのおうえ、お客さまご自身の責任と判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 株式の発行者の信用状況に変化が生じた場合や、業務または財産の変化が生じた場合、株式等の価格が変動し、それによって損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式の場合、為替相場の変動により為替差損が生じ、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。
- 外国株式の場合、国・地域の政治・経済環境等の価格変動によって損失が生じるおそれがあります。
- 国内金融商品取引所に上場されておらず、また国内において募集・売出等の届け出が行われていない外国株式については、我が国の金融商品取引法に基づいた企業内容の開示は行われておりません。

### 投資信託に関するご留意事項

- 投資信託は預金商品ではなく、預金保険の対象ではありません。また、投資元本および収益分配金が保証された商品ではありません。
- 当社で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象です。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資するため、信託財産に組み入れられた株価や債券価格の変動、金利変動、外貨建資産に投資している場合には為替相場の変動などにより、お受取金額が投資元本を下回ることがあります。
- 投資信託の運用による収益および損失は、すべてお客さまに帰属します。
- 投資信託には、購入時手数料【約定金額に対し最高3.85%＜税込＞】ならびに解約時の信託財産留保額【解約時の基準価額に対し最高0.5%】が必要となり、保有期間中は運用管理費用（信託報酬）【純資産総額に対し最高2.42%＜税込＞】、監査費用、売買委託手数料、組入資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。  
※当該費用の合計額については購入金額や保有期間等に応じて異なりますので表示することはできません。
- 投資リスクはお客さまに帰属します。投資信託をご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、お客さまの判断でお選びください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面は当社営業店にご用意しております。

### 債券に関するご留意事項

- 債券は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 債券の価格は市場金利の変動や発行者の信用状況の変化等により上下します。したがって、償還前に売却する場合の価格は購入価格を下回ることがあります。また、これにより投資元本を割り込むことがあります。
- 債券をご購入される場合には、購入対価のみをお支払いいただけます。
- 外貨建債券の場合、為替相場の変動により円貨での受取金額が投資元本を割り込む可能性があります。
- 市場環境の変化によって流動性が低くなった場合、売却することができない可能性があります。
- お取り引きによる損益は、お客さまに帰属します。商品ごとにリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書等をよくお読みのおうえ、お取り引きは、お客さまご自身の責任と判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 契約締結前交付書面および目論見書については当社営業店にご用意しております。

- お問い合わせは、お近くの四国アライアンス証券の窓口または四国アライアンス証券営業企画部（フリーダイヤル）へ

0120-14-5514

受付時間 平日 8:45～17:00  
(土・日・祝日、年末年始を除く)

- ホームページ

<https://www.shikoku-alliance-sec.co.jp/>



四国アライアンス証券株式会社は、業務の一部を株式会社伊予銀行に委託しております。

【金融商品仲介を行う登録金融機関】  
商 号：株式会社伊予銀行  
登録金融機関：四国財務局長（登金）第2号  
加 入 協 会：日本証券業協会 / (社) 金融先物取引業協会

商 号：四国アライアンス証券株式会社  
金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第21号  
加 入 協 会：日本証券業協会


■当資料は四国アライアンス証券が作成した資料です。

2024年6月26日 P24061301

# 重要情報シート (金融事業者編)



## 1 当社の基本情報 (当社はお客さまに金融商品の販売をする者です)

社名	四国アライアンス証券株式会社	当社の概要を記したウェブサイト
登録番号	金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第21号	 <a href="https://www.shikoku-alliance-sec.co.jp/">https://www.shikoku-alliance-sec.co.jp/</a>
加入協会	日本証券業協会	

## 2 取扱商品 (当社がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

預金 (投資性なし)	—	預金 (投資性あり)	—
国内株式	○	外国株式	○
円建債券	○	外貨建債券	○
投資信託	○	ラップ口座	—
REIT	○	ETF、ETN	○
保険 (投資リスクなし)	—	保険 (投資リスクあり)	—
これらの商品	お取引店までお問い合わせください。		

## 3 商品ラインアップの考え方 (商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

- お客さまの投資目的やリスク許容度等に応じ、適切な商品をご選択いただけるよう、商品ラインアップの整備に努めてまいります。
- お客さまの安定的な資産形成に資する商品の採用や既存商品の見直しを随時実施してまいります。
- お客さまに興味（面白さ・楽しさ）を持っていただける商品を採用してまいります。
- お客さまの金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります。

## 4 苦情・相談窓口

当社お客様相談窓口	各種お問い合わせ（営業企画部フリーダイヤル）	0120-14-5514
	ご意見・苦情等に関するご連絡窓口（コンプライアンス部）	089-987-7797
当社以外の相談窓口	特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）	0120-64-5005
金融庁金融サービス利用者相談室		0570-016-811 (03-5251-6811)



四国アライアンス証券

# お客様のライフプラン(将来のゴール)に添った、最適なアドバイスを行います。

	円貨建債券	株式		外貨建債券	投資信託	一時払保険	
		国内	外国			※当社では取り扱いございません。	
運用方針のイメージ	●預金より少しでも高い金利で運用したい	●個別企業への投資によって値上がり益を享受したい ●株主優待や配当金を受け取りたい ●NISAを使いたい	●海外の株式に投資したい ●個別企業への投資によって値上がり益を享受したい	●さまざまな国(企業)や通貨・年数で運用したい	●専門家が選んだ株や債券の組み合わせから自分で選択したい ●少額から運用を始めたい ●NISAを使いたい	●大切な人に「のこす」準備をしつつ運用したい ●ライフプランに応じた保障を準備しつつ運用したい	
費用	一般的なコストイメージ	一般的にコスト低め				一般的にコスト高め	
	購入時	—	購入時手数料	購入時手数料 為替手数料	為替手数料	購入時手数料	契約時費用 為替手数料
	保有期間中	—	—	—	—	信託報酬等	保険関係費等
解約時	—	解約時手数料	解約時手数料 為替手数料	為替手数料	信託財産留保額	解約控除 為替手数料	
主なリスク	金利変動リスク 信用リスク	価格変動リスク 信用リスク (株式・REIT等)	為替変動リスク 価格変動リスク 信用リスク (株式・REIT等)	金利変動リスク 為替変動リスク 信用リスク	金利変動リスク 為替変動リスク 価格変動リスク 信用リスク (株式・REIT等)	金利変動リスク 為替変動リスク 流動性リスク	
商品の特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国(企業)・地方公共団体等が発行しているため信用度が高く、安全性が高い金融商品です。</li> <li>●定期的に利金を受け取れます。</li> <li>●債券自体の価格変動はありますが、償還時には額面金額に戻ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外の金融取引市場に上場している有価証券です。</li> <li>●定期的に配当金を受け取ることができる銘柄があります。</li> <li>●定期的に株主優待を受け取ることができる銘柄があります。(外国株式を除く)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外の企業や政府等が発行している外貨建ての金融商品です。</li> <li>●定期的に利金を受け取れます。</li> <li>●債券自体の価格変動はありますが、償還時には額面金額に戻ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お客さまが投資された資金をひとつにまとめ、運用の専門家が複数の株式や債券などに投資・運用する仕組みの金融商品です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保障機能と運用機能をそなえた商品です。商品によってさまざまな保障や受け取り方を選べます。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■一時払終身保険のイメージ</li> <li>■一時払終身保険(定期支払金がある商品)のイメージ</li> <li>■定額個人年金保険のイメージ</li> </ul>		

※上記は商品・サービスの情報提供を目的として一般的な商品の概要・特徴等を纏めたものであり、個別商品について記載したものではありません。  
※個別商品のご検討にあたっては、必ず商品のパンフレット等にて重要事項の確認をお願いします。

### 金利変動リスク

金利水準の変動は、株式・金融市場に影響を与えます。債券は、金利水準の変化により価格が変動します。利率が確定している債券を購入した後に市中金利が上昇すると、その債券の魅力が薄れ価格は値下がりします。組み入れた債券の価格が下落した場合、価額の下落要因になります。

### 為替変動リスク

為替変動リスクとは、外貨建て資産に投資する際、外国為替相場の変動で投資した金融資産の円換算額が変動することです。外国為替相場は、金利情勢、政治・経済情勢、市場の需給などの要因で変動します。投資国の通貨が対円で下落(円高)すると、投資した資産の円換算額が減り、価額の下落要因になります。

### 流動性リスク

保有資産を売却・購入する際、市場規模や取引量が少ないため、必ずしも期待される価格で売却・購入できなかったり、時間がかかるなど、不利な条件での取引を強いられる場合は、価額の下落要因になります。

### 価格変動リスク(株式・REIT等)

株式は、企業業績や、国内外の政治・経済情勢等の影響などで価格が変動します。REITは、不動産を投資対象とします。REITの価格は、不動産を取り巻く環境、不動産市況や金利動向、マクロ経済の変化などの影響を受け変動します。

### 信用リスク

信用リスクとは、株式や債券等の有価証券発行体が財務状況の悪化や経済情勢の変化等で利払いや元本の返済が滞り、有価証券の価格が下落したり、投資資金の回収ができなくなったりすることです。信用リスクが高まると保有資産の価格が下がり、価額の下落要因になります。